

2023MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦 エビスサーキット 参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S10Open クラス

MERCURYPRODUCTS #9 薄井保彦

6月11日エビスサーキットで開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権第3戦に参戦しました。

梅雨時のレースウィークでしたが土曜日の前日練習はドライ。ただ、決勝日の日曜日の予報は雨。

ダートは2か所。第1ダートは2コーナーを抜けた後下りストレートから3コーナー手前で90度に曲がり

ダートへ



左へ180度カーブしたかなり勾配の有るダートです。

第2ダートは裏ストレート入り口にシケインが設けられてそこからダート進入。ストレートの砂利で最後90度コーナー後ターマック上のシケインを抜けます。入り口出口ともダート上で90度ターンします。



第1ダートはバンクも無くフラットな登りで砂利が深くドライでも転倒者がいて止まった場合再スタートはスタックして上るのが困難な路面。決勝日のレインコンディションでは苦勞しそうです。

前日練習は決勝日の練習にはならなそうですが、体慣らしに4本全て走りました。

走行後はマシン整備と車検。車検も問題なく済み翌日に備え温泉に入り身体を休めます。

車検の際マーキュリープロダクツのグローブユーザーが多く車検官に「みんなこのグローブ使ってるなー」と言われてグローブの普及を嬉しく実感しました。

レース決勝日。予報通り雨。ブリーフィングでは選手数名から第 1 ダートの変更が要望されましたが結局そのまま使用することに。

公式練習を走った感触では第 1 ダートのイン側は前日練習で砂利が無くなり土が出ていて走れないので砂利の有る外側しか使えない感触。ただその分走れる部分は少ないのでパッシングポイントにはならなそう。

第 2 ダートは勢いよく進入したら外側の壁にヒット。転倒は免れましたが気を付けないといけないポイントが分かりその後は進入ではスピードを抑えダート出口に直線的に向かうラインを走る事にします。

公式練習を 5 分走りグリーンフラッグが振られそのまま予選タイムアタックの時間に。

予選計測時間早々に第 2 ダート出口でエンスト。後ろを走っていた過去のチームメイト久谷選手に抜かれます。すぐに復帰して久谷選手の後ろにペースが丁度良く引っ張られながら走行。

今回のエビスのコースはターマックの距離が長く全戦の HSR に続きターマックでタイム稼げるレイアウト。久谷選手はガードが速く、こちらはターマックで取り返しながらの走行になります。

サインボードを見るとポジション 8。その後 6 まで上がりますが他の選手もタイムを出してきてポジションは 10 にダウン。ただそのタイム差も僅差の様で残り 2 周でポジションは 5 に。まだタイムを上げてくる選手もいると思われさらにプッシュするもタイム上がりず。ただ、そこから順位は変わらず予選は 5 番手に。

ダートが難しかった中では上出来なポジションを獲得できました。

1 時間後決勝ヒート 1。

雨は降り続けダートの状況は変わらず。グリッドは 2 列目真ん中。今回はスタートからしばらくターマックなので少しでも前に出て前車からの泥を被らず視界を確保したいところ。

ヒート1スタート。



1 コーナーでは3番手まで上げるもののダート進入までに1台に抜かれてポジション1つダウン。

前が少し離れつつも4番手キープ。泥を被らないで済みます。



が、数周後第2ダートでイン側から久谷選手にパスされポジション1つダウン。

その後後ろからのプッシュは守り切り5位でチェッカー。



今期2度目の5位入賞です。



暫く自分の後ろを走っていた久谷選手は泥だらけ。自分は割と汚れずに済んでいます(笑)

昼休みを挟み決勝ヒート2。

雨は一時期小降りになったものの路面はウェット。昼の間にコース整備も無かった為、第1ダート、第2ダート共に荒れています。

ヒート1の結果順ですがポジション変わらずグリッドは2列目真ん中。

ヒート1と同じく第1ダートまでに前に出たいところ。

決勝レースヒート2スタート。

スタートは1台抜いて4番手。ただ、その後久谷選手、梅田選手に抜かれてしまい6位まで後退。ターマックは他車より早く走れているものの、ダートでは追いつかれています。路面状況の悪い今回のダートは無理をすると転倒のリスクが有り、無理をしないと抜きどころも無いので少しペースを落としてでも転倒しない様に慎重に走ります。第1ダート出口付近では毎回後ろの吉田選手に並べられますが、ベストラインはこちらなので抜けない状況。前は離れてしまいグループの先頭をずっと走ります。

サインボードでの後ろとの差は常に0.1から0.3の表示。10週のレースがものすごく長く感じます。

残り半分位からゴーグルのティアオフフィルムとレンズの間に水が入り視界不良に。第 1 ダートでベストラインのさらに外側の砂利が深く積もった場所に入ってしまうと加速が鈍ります。抜かれる！と思いフル加速。何とか抜かれずに済みます。ここでティアオフを全て外す選択もありますが、泥での視界不良の方が深刻なので外さずに我慢。視界がゆがみ第 2 ダート出口の轍にも上手く入れなくなってきました。

後ろからのプレッシャーを感じつつ、まだ周回数がある為ここで焦って転倒して順位を大きく落とすわけにはいかないの守りでなんとか走行してのラスト 2 周。ついに第 1 ダートで後ろを走っていた吉田選手にパスされてしまいます。これで順位は 7 位に後退。入賞圏外のポジションに。ラスト 1 周ダートはブロックラインを走行するも第 2 ダートで川崎選手にも抜かれてしまいさらにポジションダウン。ダート後のターマックで巻き返そうとプッシュするも届かず 8 位でゴール。

予選結果、ヒート 1 の結果からは落としてしまいましたが、ダート有りの雨の中なんとかヒート 2 もシングルフィニッシュ出来ました。

結果論ですが、思い返すとティアオフを全部外してダートでもう少しプッシュすれば後半の 2 台には抜かれなかったかもしれませんが、転倒でポジション大幅ダウンのリスクを避けシーズン通してポイントの事を考えれば最善策だったと思います。

今シーズンから投入したマフラーと ECU は体感的にはあまり速さを実感できないものの予選タイムは確実に上がっており、去年より前方でスタートできていると思います。乗り難さも無い為、もっと早く投入していればなんて思ったりもしますね。

次戦は 7 月 23 日茂原ツインサーキットでの第 4 戦。こちらも高速サーキットの部類に入るのでマフラー、ECU の効果が見込めます。

引き続きサポート、応援よろしく申し上げます。